

徳島の留学生交流

International student exchange in Tokushima

留学生と地域社会との交流をめざして

か
ず
ら
ば
し

2 0 1 3

徳島地域留学生交流推進協議会

International Student Exchange in Tokushima

目 次

○ 寄稿		
徳島工業短期大学	-----	1
○ 留学生への支援事業	-----	4
○ 留学生交流事業	-----	8
○ 徳島地域の外国人留学生受入の現状	-----	16
○ 留学生の声		
鳴門教育大学大学院学校教育研究科2年 曹 芳 (中国)	-----	18
鳴門教育大学教員研修コース リカルド ガルシア ガボリット (グアテマラ)	-----	19
四国大学文学部日本文学科1年 梅 芬 (中国)	-----	19
四国大学文学研究科日本文学・書道文化専攻 付 奕 (中国)	-----	20
徳島文理大学短期大学部生活科学科2年 周 ツーイン (台湾)	-----	21
徳島工業短期大学自動車工業学科 レオン ユー チエン (マレーシア)	-----	22
阿南工業高等専門学校電気電子工学科5年 アーマド アシュラフ ビン イブラヒム (マレーシア)	-----	23

○ 留学生の声

阿南工業高等専門学校機械工学科5年
シャワルヒュデイン ビン モハマド ドム (マレーシア) ----- 24

徳島大学大学院総合科学教育部博士前期課程2年
奇 旭琮 (中国) ----- 25

徳島大学工学部機械工学科2年
ムハンマド ザイヌル アリッフィン ビン ザイノルディン
(マレーシア) ----- 26

国際交流 大海に網を打つ

徳島工業短期大学
学 長 宮城 勢治

私たちは
世界の中の日本人である。
世界の平和と共栄に貢献し、
世界の信頼を受くべき
国際的社会人と
なるべきである。



当大学創立者近藤安次郎は戦後、高等学校設立後は留学生の招致と分校設立のために、昭和41年7月22日にブラジル、アルゼンチン、メキシコ、サンフランシスコを訪れた。昭和42年7月10日には、東南アジア教育視察のため、生徒2名と引率教員1名とともに香港、バンコク、シンガポール、ジャカルタ、ボルネオ、マニラ、台湾を2週間に渡って訪れている。昭和43年にタイ国から2名が初めて入学した。その後4名が入学した。昭和45年12月、46年3月に韓国、48年4月にサイゴンを訪れている。バンコクにはその後5回訪問して分校設置を計画したが地元との契約が難航して断念することとなった。



徳島工業短期大学創設後も中国、台湾出身の日本国内在住の留学生を受け入れてきた。また、徳島県内の留学生との交流会を開催したり研修生を昼食に招いたりした。本学の学生については、昭和52年にタイ、シンガポールに職員2名、学生2名を派遣して以来、毎年、台湾、香港、中園、韓国などに派遣した。しかし、当時は提携校はなかったので一般ツアーの一員としての参加であった。

平成元年秋に、本学の元教授藤井先生の紹介で平野積徳化成(有)社長より台湾の教会が運営する短期大学との提携話がもち上がった。翌年2月14日に理事長及び院長が来学して長老教会霊経学院と提携した。初めての海外校との提携であった。近藤吉克理事長、森本学長が学生を引率して訪問するなど両校の交流は順調に続いていたが、平成5年春の提携書満了年に学院の母体の教会幹部の人事異動により方針の変更があり、以後



の交流は途絶えた。

そこで、新たな国際交流先を探そうとしたところ地元の板野町では、板野ニュージーランド協会(吉岡輝昭会長)が平成2年、ニュージーランド建国150周年記念の「ジャパン・ウィーク」に阿波踊りの使節団を派遣するなど同国との交流を進めていることがわかった。同年3月から姉妹校縁組を求めて手紙を送り提携を打診したところ、南島のクライストチャーチ近郊のテイマル市内にあるアオラキ・ポリテクニクから快諾の返事が届いた。両校に自動車科が設置されていることもあり提携交渉は順調に進み、平成5年11月19日にレイノルズ自動車科長が来日、協定書に調印した。そして、提携校における本学学生の英会話研修を選択科目の英会話として認定したり教員・学生の相互訪問を続けた。学生の中で正規留学をする者も現れ、両校の国際交流は深まりつつあった。提携してから4年後にニュージーランド政府が「小さな政府」をめざす経済政策に移行し、自動車科が廃止され、本学と交流の窓口となった教員も退職したことからニュージーランドとの交流は途絶えた。



平成10年に本学が全国自動車短期大学協会の研修会を担当した時に、中日本自動車短期大学の有馬学長から中国大陸での募集について助言と開拓窓口を紹介されたのを契機に、翌年から(株)留学情報社とともに中国での学生募集を開始した。平成13年度に済南市より馬振君が初めて入学した。

以来、平成25年度までの海外から直接入学した留学生は、中国22名、マレーシア5名、ミャンマー1名となっている。

留学生受け入れの協定については、平成12年11月11日に上海市工商外国語学校長が来学し、提携調印を行った。その後、同校から平成14年に1名、平成15年に3名が本学に入学した。平成14年5月10日に青島演海職業学院(韓院長ご夫妻)が来学し、提携調印をした。同



年7月29日-8月4日に上海市工商外国語学校、8月20日-27日に青島演海職業学院が時を同じくして来学した。その間をぬって、8月8日-14日に両校に本学からも初めて伊丹国際親善課長、学生2名を派遣した。他に、夏季研修として、大連職業技術学院(平成17年-20年)、山東建文学院(平成21年-22年)に教員、学



生を派遣した。平成 23 年に東日本大地震及び福島原発事故、24 年以降の尖閣問題、25 年に鳥インフルエンザの流行と自然災害・社会・政治問題が顕在化したために、これまで提携した大学間交流を延期せざるを得ない状況が続いた。しばらく、対外活動を中止したが打開の道を探るために平成 25 年 6 月 16 日-21 日に珠海の広東科学技術学院、中山市の青島国際交流中心、上海昂立日本語学校等を訪問して提携校の開拓及び生徒への留学説明会を始めている。



一方、日本国内の日本語学校等からの留学生は、これまで中国、台湾、ベトナム、タイ、ミャンマー、バングラデシュ、韓国等から約 20 名が入学している。かつては徳島に日本語学校があったので、総数としては最も多いが、他には仙台、栃木、東京、横浜、大阪、京都、岡山、神戸、高松、高知、福岡、沖縄等日本各地から入学している。



学内の施策として今後留学生が増えることに備えて、平成 12 年 12 月に留学生の物心両面を支援することを目的に留学生後援会を設立した。来日時の歓迎会、誕生会、春・秋の遠足などの行事や生活用品の貸与などを通じて、留学生と日本人学生、教職員、地元の有志とが交流する機会を現在まで持っている。また、最近の入学者の日本語能力が弱くなっていることから平成 23 年度より入学 2 週間前から日本語教育及び大学生活を送るについての様々なオリエンテーションを開始した。24 年度から通期において専門の日本語教師による日本語科目の設置や日本人学生による留学生に対するアドバイス(チューター制度)も取り入れている。これまでは、留学生の進路決定率はほぼ 100%であったが、コミュニケーション能力及び学習意欲の低下が進行している現状に鑑み、大学側の指導・援助の強化がさらに求められている。

○留学生への支援事業

1 留学生に対する奨励事業

徳島地域留学生交流推進協議会では、留学生の一時帰省旅費や、特に臨時の資金を必要とする場合に次の表の範囲内で貸付を行っています。貸付を希望する人は所属大学の留学生担当係を通じて事務局まで申し込んでいただくことにしています。

区 分	貸 付 金 額	備 考
一時帰省旅費	帰省旅費（エコノミークラス）の片道相当額	帰国後6ヶ月以内に一括又は分割返済
特別貸付	10万円以内	6ヶ月以内に一括又は分割返済

2 ホストファミリープログラムの実施

徳島地域留学生交流推進協議会では、(公財)徳島県国際交流協会と共催し留学生をホストファミリーの家庭へ受け入れ、家族ぐるみの交流を行うことにより互いの文化の交流を深めるとともに、留学生が疎外感を感じることなく徳島での生活をより快適に、有意義に過ごせるよう支援することを目的として実施しています。このプログラムでは、宿泊を伴うホームステイと宿泊を伴わないホームビジットがあります。

ホストファミリーの紹介を希望する人は所属大学等の留学生担当係を通じて事務局まで申し込んでください。

また、ホストファミリーとなっていただける方を広く募集しています。申し込み方法等の詳細は(公財)徳島県国際交流協会又は事務局までご連絡ください。

3 生活用品の無償提供

徳島地域留学生交流推進協議会では、各国際交流団体の協力を得て、交流団体の会員等から生活用品を無償提供していただき、各大学等の留学生を対象とし配布することとしています。

4 留学生のための奨学金等

名称	給付額	人数(平成24年度)	備考
徳島大学国際教育研究交流資金	月額30,000円又は 50,000円	徳島大学 12名	
藤井・大塚国際教育研究交流資金	月額30,000円又は 50,000円	〃 23名	
徳島大学若葉会奨学基金	年額200,000円又は 150,000円	〃 3名	
徳島大学卒業生同窓会推薦留学生奨学金	月額100,000円	〃 2名	
ロータリー米山記念奨学会奨学金	月額140,000円又は 100,000円	〃 2名	
公益信託三木武夫国際育英基金	月額25,000円	〃 1名	
日本国際教育支援協会(JEES)一般奨学金	月額30,000円	〃 1名	
財団法人日揮・実吉奨学会第2種給与奨学金	年額500,000円	〃 1名	
財団法人日揮・実吉奨学会第3種給与奨学金	月額180,000円	〃 1名	
ドコモ留学生奨学金	月額120,000円	〃 2名	
大塚敏美育英奨学財団	年額2,000,000円	〃 1名	
佐川留学生奨学財団	月額100,000円	〃 1名	
藤井国際奨学財団	月額50,000円	〃 1名	
徳島ゾンタクラブ	年額100,000円	〃 1名	
大塚芳満記念財団	年額500,000円	〃 1名	
財団法人平和中島財団	月額120,000円	〃 1名	
財団法人みずほ国際交流奨学財団	月額120,000円	〃 1名	
KDDI財団外国人留学生助成	月額100,000円	〃 1名	
鳴門教育大学私費外国人留学生奨学金	年額32,000円	鳴門教育大学 17名	
大学間交流協定に基づく交流学生奨学金	月額5,000円	〃 6名	
鳴門ゾンタクラブ外国人女子奨学金	年額200,000円	〃 1名	
公益信託三木武夫国際育英基金	月額25,000円	四国大学 1名	
授業料免除	年額588,000円(1年)	徳島工業短期大学 7名	70%免除(内1名は 294,000円)
	年額616,000円(2年)	〃 7名	70%免除
	年額588,000円(専攻科)	〃 5名	70%免除(内2名は 294,000円)
外国人留学生奨学金	1回172,000円	〃 6名	国家試験合格者

5 その他の支援事業

団体名	事業内容
徳島大学	日本語補講 日本文化・企業見学旅行 留学生スキー旅行 新入学留学生ガイダンス 生活支援(留学生住宅総合保障の加入金補助、渡日一時金の支給)
鳴門教育大学	外国人留学生を支援する基金－火災・風水害の被害、病気・事故による入院への支援 日本語補講(入門クラス, 初中級クラス, 中級クラス, 上級クラス), 日本語能力試験対策講座 外国人留学生学外研修(日帰り)－会社訪問, 文化施設訪問, 体験学習等 外国人留学生学外研修(1泊2日)－県外での日本文化体験, 工場見学等 日本文化体験－書道, 着付, 茶道, 大正琴, ちょんかけごま等 外国人留学生新入生オリエンテーション 鳴門警察署による交通安全オリエンテーション 教員研修留学生研究発表会・修了式(本学での1年間の研究成果の発表)
四国大学 四国大学短期大学部	留学生オリエンテーション(資格外活動, 各種奨学金等に係る手続きの説明) 生活及び進路相談
徳島工業短期大学	生活用品(冷蔵庫, 洗濯機, 自転車)の貸与 入学祝金の支給 留学生後援会からの誕生祝金の支給
阿南工業高等専門学校	留学生に対する日本語補講 留学生に対する日本事情補講 留学生に対する数学・専門科目補講 留学生に対する生活必需品購入指導 留学生(短期留学生)に対する英会話指導
(公財)徳島県国際交流協会	日本語教室 外国人生活相談 外国人子育てサロン(託児つき日本語教室) 多言語情報提供(生活情報誌, 外国図書, 新聞, 雑誌ほか) 多言語電話窓口相談 防災意識の啓発(防災ハンドブック配布, 出前講座開催ほか)
徳島市国際交流協会	談話室運営 生活用品貸出 情報提供(ニュースレター, 図書, 新聞) 相談窓口の開設 語学講座(日本語・英語・仏語)の運営
鳴門ダイバーシティクラブ	私費留学生へのアルバイト紹介
小松島市国際交流協会	生活物資支援 日本語教室の運営(夜間開催) 託児付き日本語教室の開催(インターナショナル子育てサークル ももたろう) 外国人向け和食料理教室

5 その他の支援事業

団体名	事業内容
阿南市国際交流協会	留学生のホームステイ先を提供 外国人との交流 バス研修の誘い 日本語教室の開講 料理教室
徳島ゾンタクラブ	留学生に生活用品の提供
徳島ユネスコ協会	留学生への生活用品の提供

○留学生交流事業

平成25年度交流事業

主催団体等名	実施時期	事業名	事業の概要
(公財) 徳島県国際交流協会	7月	外国人による日本語弁論大会	在県外国人の率直な意見を聞くとともに、質疑応答などを交えて県民との交流を図る。(徳島地域留学生交流推進協議会共催)
	8月	阿波おどり交流事業(国際交流連・あらしわ連)	阿波おどりを外国人に紹介するとともに県民との交流を図る。(徳島地域留学生交流推進協議会共催)
	9月	防災センター・スタディ・ツアー	在住外国人を対象に防災センターでの災害疑似体験、南海トラフ巨大地震をはじめとした防災意識啓発を図る。
	11月	ホームステイ・ホームビジットプログラム	日本の家庭生活を味わってもらうことにより、日本の文化に触れ、異文化理解や相互理解を図る。(徳島地域留学生交流推進協議会共催)
	通年	TOPIAネットワーク会員講師派遣事業	在県外国人を講師として小・中・高等学校等に派遣し、青少年への国際理解を深める。
徳島市国際交流協会	6月	初夏のサイクリングとBBQ	国際交流の集い(月見ヶ丘海浜公園にて、サイクリングとバーベキュー)
	8月	阿波踊り	国際交流の集い
	10月	剣山登山	国際交流の集い
	11月	アイススケートと大窪寺	国際交流の集い
	12月	年忘れボーリング大会	国際交流の集い
	2月	新春・国際交流パーティー	国際交流の集い(ダンス・各国演芸・立食)
	月1回	国際親善スポーツ	フットサル大会
小松島市国際交流協会	11月	国際交流みかん狩り	留学生と市民との交流(みかん狩り、交流パーティー)
	不定期	和食料理教室	留学生と市民との交流(簡単でおいしい日本料理と料理で使う日本語を学ぶ)
	不定期	外国料理教室	留学生と市民との交流(食を通して、外国文化を学ぶ)
阿南市国際交流協会	6月	通常総会・講演会	留学生及び在住外国人と市民の交流(外国人から見た日本)
	7月	阿南の夏祭りに参加	留学生及び在住外国人と市民の交流(パレード、阿波踊り)
	8月	バーベキュー大会	帰国する留学生のお別れ会
	10月	バス研修	留学生及び在住外国人と市民の交流 讃岐ぶらり(外国人と交流しながらうどん打ち体験)
	10月	観月会	留学生及び在住外国人と市民の交流(外国人と交流しながら、お茶席などのボランティア体験)
	10月	料理教室	留学生と市民の交流(留学生からベトナム料理を教えてもらう)
北島町国際交流協会	5月	留学生歓迎パーティー	留学生と住民との交流
	11月	外国料理講習会	料理を通じての国際交流
徳島YMCA	7月～8月	ICCP(インターナショナルキャンパカウンセラーin大阪)	韓国(ソウル)・台湾(台中)の青年4名がYMCA阿南国際海洋センターにて、キャンパカウンセラー体験を行い、県内外の多くのキャンパーおよび、学生ボランティアカウンセラーとの交流と研修を行った。
徳島ゾンタクラブ	12月	インターナショナルナイト	留学生を招待して交流

○留学生交流事業

平成25年度交流事業

主催団体等名	実施時期	事業名	事業の概要
徳島大学	不定期	日本文化体験	日本文化・企業見学旅行(12月), 留学生スキー旅行(1月)
	7月, 1月	ホームステイ・ホームビジット	留学生が日本の家庭を訪問し, 日本語による会話を通して日本の文化や慣習を体験する。
	不定期	地域の小学校・高校訪問	留学生が地域の学校を訪問し, 日本文化を共に学んだり日本語で自国の文化を紹介し, 自国の遊びを一緒に学んだりする。また英語による同様の活動も実施している。
	11月	多文化体験交流会	徳島大学大学祭において留学生, 日本人学生及び地域住民との交流会
	11月	研修旅行	徳島の現在と伝統を日本人学生や地域住民とともに学ぶ。
	3月	外国人留学生の卒業・修了を祝う会	卒業・修了予定の留学生と教職員等との交流懇談会
	不定期(月1回)	国際交流サロン	留学生と地域住民・日本人学生が日本語を通して共に学ぶ協働の場。茶道を楽しむ(5月), 書道を楽しむ(6月), 浴衣を着て阿波踊り(7月), 日本の伝統的な遊び(10月), 留学生の国への誘い(11月), 着物の歴史を学ぶ(12月), 華道を楽しむ(1月), 世界の料理(2月), ひな壇飾り(3月)
鳴門教育大学	6月	国際交流親睦パーティー	留学生と大学院生, 学部生, 教職員との交流会
	7月	鳴門東小学校(国際交流集会)	児童と留学生の国際交流
	10月	イングリッシュ・キャンプ	鳴門市小・中学生と留学生の交流
	平成25年10月～平成26年2月	外国青年と小学生の国際交流活動	鳴門市小学生と本学留学生の国際交流学習会
四国大学 四国大学短期大学部	随時	留学生面談会	生活及び進路相談、近況報告
	随時	イングリッシュ・ランチ	留学生と日本人学生が昼食時に英会話で交流
	随時	チャイニーズ・ランチ	留学生と日本人学生が昼食時に中国語で交流
	随時	中国セミナー	留学生が留学予定の日本人学生に異文化・学生生活について紹介
	9月	外国人留学生実地見学	日本事情の実地見学・研究用資料の収集等
徳島文理大学 徳島文理大学短期大学部	4月	新入生歓迎懇談会	留学生及び国内離島等出身の学生に対し, 学園理事長主催で, 歓迎懇談会を開催し, 懇親を深めた。
	9月	徳島文化研修	徳島キャンパスで受け入れられている台湾の交換留学生10名に徳島文化研修を実施 鳴門渦の道、霊山寺、阿波踊り会館など6ヶ所を訪問
徳島工業短期大学	4月	留学生歓迎昼食会	留学生の近況報告会来日を歓迎する会
	4月	研修旅行	留学生と邦人学生相互の交流(ボーリングとBBQ)
	6, 11, 1月	留学生誕生会	留学生の誕生日を祝う集い
	9月	研修旅行	留学生と邦人学生相互の交流(USJ)
阿南工業高等専門学校	4月	花見	新たな留学生を迎えてのお花見会
	5月	研修旅行	留学生とチューターが共に日本の歴史・文化を体験する旅行(京都)
	6月	阿南市国際交流協会総会	留学生と国際交流担当教員が、地元の国際交流協会の総会に参加
	7月	国際理解教室及び手打ちうどん作り教室への参加	地元の小学生に留学生が出身国の遊びを紹介。小学生と共いうどん作りも体験(那賀川公民館主催)
	7月	阿波踊り講習会	阿南市国際交流協会主催の阿波踊り講習会に参加
	11月	阿南高専蒼阿祭	阿南高専の文化祭に参加
	11月	ミカン狩り	地元の方の協力を得てミカン狩りを体験
	11月	防災研修	徳島県国際交流協会主催の防災研修に参加
	12月	四国地区高専総合文化祭	国立高専四国総合文化祭に参加し、留学生コーナーで自国の地理や文化について紹介
	12月	ホームステイ	阿南市国際交流協会の協力を得てホームステイ体験
	1月	New Year's Day Party	National Institute for Young Education主催の新年会に参加
	1月	New Year Party	阿南市国際交流協会主催の新年会に参加

各国際交流団体の事務局所在地

団体名	事務局所在地	連絡先電話
(公財)徳島県国際交流協会	徳島市寺島本町西1-61 クレメントプラザ6階	088(656)3303
徳島市国際交流協会	徳島市新蔵町1-88	088(622)6066
鳴門ダイバーシティクラブ	鳴門市撫養町南浜31-45 シティハイムpart1 205号室	088(683)0270
小松島市国際交流協会	小松島市横須町1-1 小松島市役所内	0885(32)2191
阿南市国際交流協会	阿南市向原町天羽畷103-1 西野建設(株)内	0884(44)6652
北島町国際交流協会	板野郡北島町中村字上地23-1 北島町役場内	088(698)9801
徳島ユネスコ協会	阿南市富岡町今福寺49-2 河内順子様方	090-1573-4555
国際ソロプチミスト徳島	徳島市中洲町2-20-1 曾木充代様方	088(653)0034
徳島中央ロータリークラブ	徳島市仲之町3丁目27番地6号 エムエフビル1F	088(626)1700
徳島YMCA	徳島市新町橋2丁目29-1 蔵本ビル1階	088(626)0035
徳島ゾンタクラブ	徳島市一番町3-16-3 阿波観光ホテル内	088(622)5161

交流風景

徳島県国際交流協会



日本語弁論大会



阿波おどり

徳島県国際交流協会



ホームステイ・ホームビジットプログラム

小松島市国際交流協会



国際交流みかん狩り

徳島工業短期大学



留学生歓迎昼食会



留学生誕生会



春の遠足:百閒滝見学



遠足:あすたむらんど

徳島大学



小学校訪問



研修旅行:大塚能力開発研究所



国際交流サロン:着物の歴史を学ぼう



国際交流サロン:着物を着て阿波踊りを踊ろう

徳島大学



日本文化・企業見学旅行
: パナソニックエコテクノロジーセンター

: 太秦映画村



スキー旅行

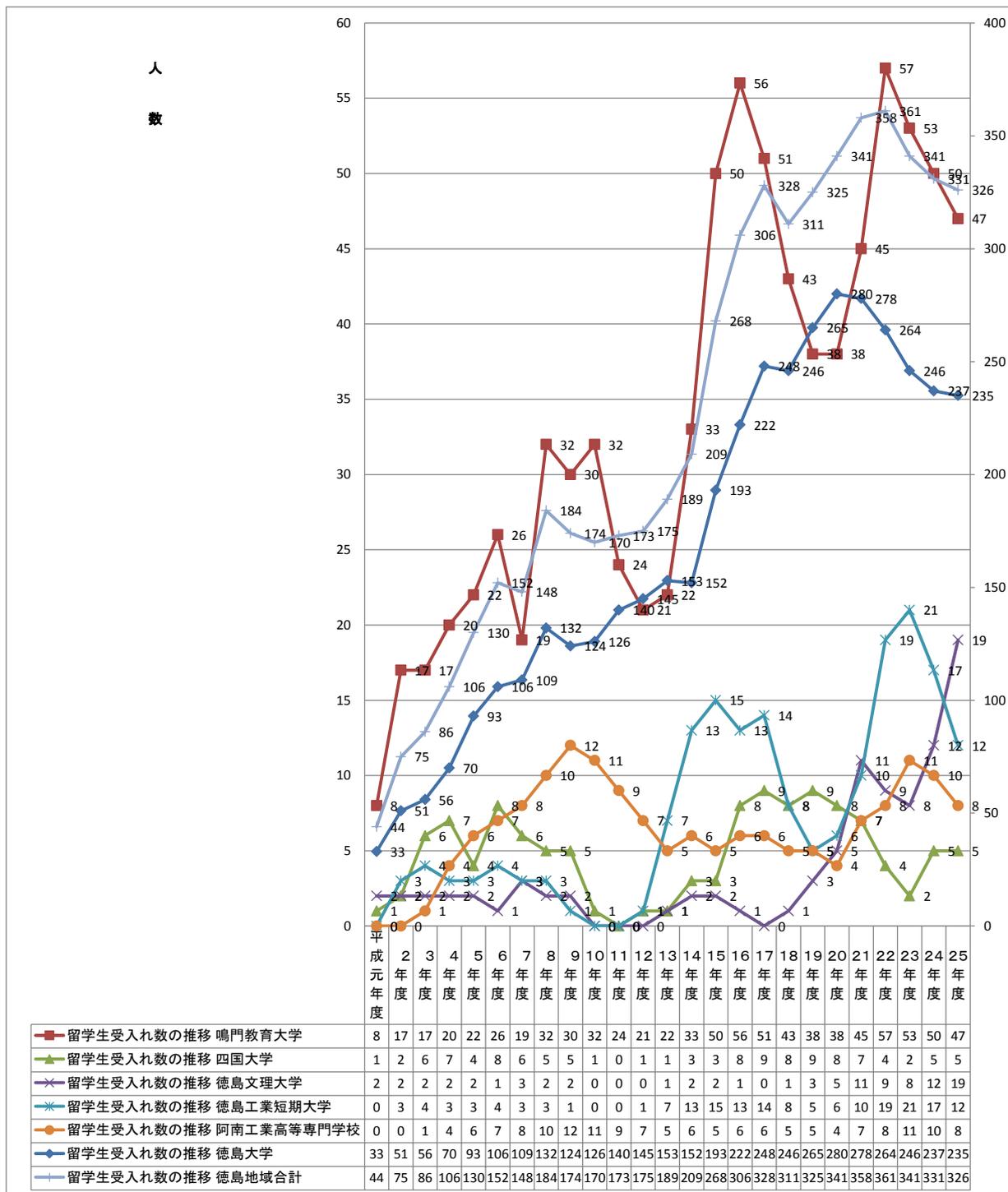


多文化体験交流会



○徳島地域の外国人留学生受入れの現状

1 留学生受入れ数の推移



2 出身国・大学等別の留学生数

(平成25年10月1日現在)

国・地域		国立大学		私立大学		私立短期大学			高専	合計
		徳島大学	鳴門教育大学	四国大学	徳島文理大学	四国大学短期大学部	徳島文理大学短期大学部	徳島工業短期大学	阿南工業高等専門学校	
アジア	中国	117	26	5	1			7		156
	韓国	11	1		4		1			17
	台湾	5	2		11		1			19
	マレーシア	16	1					2	4	23
	インドネシア	12	2						1	15
	バングラデシュ	7								7
	ベトナム	12						1	1	14
	インド	1								1
	ネパール	1	1							2
	モンゴル	27							1	28
	タイ		3					1		4
	ミャンマー		1					1		2
	ラオス	1								1
中近東	シリア	1								1
ヨーロッパ	ドイツ	1								1
	ロシア	1								1
	スウェーデン	2								2
	ハンガリー		1							1
	ベラルーシ	1								1
	ポーランド	2								2
	イギリス	1								1
	アイルランド	1								1
	フランス	1								1
	ポルトガル				1					1
スペイン	1								1	
アフリカ	エジプト	4								4
	ウガンダ	1	1							2
	エチオピア	1								1
	マダガスカル		1							1
	ガーナ		1							1
	南アフリカ		1							1
	モロッコ							1		1
	ルワンダ		1							1
	ギニア	1								1
北米	アメリカ合衆国	2	1							3
中南米	エルサルバドル	1								1
	ブラジル	1								1
	ホンジュラス	1								1
	グアテマラ		1							1
	ペルー	1								1
大洋州	フィジー		1							1
	サモア		1							1
合計		235	47	5	17	0	2	12	8	326



宿命的な出会い—徳島

鳴門教育大学

大学院学校教育研究科 2年

ソウ ホウ
曹 芳 中国

大学院に進学する際、「徳島」の中国語の発音が、「得到(得る)」の発音に似ているため、親から「恐らく徳島に行って、弛みなく努力すれば、豊かな実りが得られるだろう」という話があったのが、徳島の大学を選んだきっかけの一つである。

徳島に来たのは一昨年(2019年)の4月であり、青空の下で聳えている群山や海沿いの風景を見た瞬間、一目惚れした。徳島は、鳴門海峡や渦潮などといった豊かな自然で知られているが、その人情味も溢れていると言える。賑やかな東京や古い歴史に恵まれる福岡に比べると、徳島はその独特な風土や純朴な気風で、私はもとより多数の留学生にも好まれている。大学の先生方をはじめ、地域住民の方々が優しく接してくださった。温かい人情こそ正に徳島に魅了されたところである。

また、徳島での様々な体験を通して、留学生の私に帰属意識を持たせるようになった。例えば、週に一回の中国語教室と日本語教室のボランティア活動に参加している。教室において、地域の住民や様々な国からの学習者と積極的に交流することで、得がたい教育経験を積むことだけでなく、相互理解も深めた。それらを通じて、中国では得られなかった多くの感動や心得を得ることができたので、一生の思い出になる、極めて貴重な体験になった……私は子どものように、絶えず知識や経験を摂取している。一方、徳島はお母さんのように私を慈しんで育てている。徳島に2年半住んで、教師としての教養だけでなく、その責任感や使命感も持つようになり、自分の成長を実感できた。

来年修士課程を修了した後、徳島を離れることを考えると、別れを惜しむような気持ちが胸に湧いてきた。将来、よその土地に行っても、徳島のことを忘れず、この町で得た多くの経験や心得を多くの留学生に伝えようと思っている。ゆえに、私にとっては、徳島に来たのが宿命的な出会いであり、心の旅でもあ

る。



留学生からみた徳島

鳴門教育大学 教員研修コース

リカルド ガルシア ガボリット
Ricardo García Gaborit

グアテマラ

私は去年の10月から徳島に住んでいます。いろいろと親切でおもしろい日本人の友だちができた、おいしい徳島ラーメンを食べたり、景色がすごくきれいで、

たくさん観光ができて、徳島が大好きです。その上、徳島は日本の生活と文化を経験するのに、とてもよいところだと思います。書道、茶道、おりがみ、生花、そして昔から徳島にある有名な阿波踊りにも参加ができますから、時間が経つのはあっという間です。

徳島の自然とはきれいで、一年中外でもいろいろな楽しいことができます。眉山にお花見に行くとか、夏は海でかき氷を食べてから泳ぐとか、公園に紅葉の写真を取りに行くとか、冬にはスキーをするとか、いつでも安全でおもしろいことができます。

そして、最近鳴門のDBOXというライブハウスで歌を歌っています。そこでは言葉がわからなくても音楽でみんなと仲良くなれます。11月にはJAZZ NIGHTというイベントに出演しました。

私の研究は来年の3月までで、国に帰ることになっています。それまでもっともっと徳島を楽しみたいとおもっています。



暖かい徳島

四国大学

文学部日本文学科1年

バイ フン
梅 芬 中国

興奮と不安を抱えて徳島に来たのがまるで昨日のことのようですが、もう七ヶ月が

経ちました。関西空港に到着した時はまだ実感がなく、徳島のタクシーに乗って、学校に向かうにつれ初めて、「ああ、日本に来たか、ここは一年過ごすところか」と思うようになりました。寮で待っていて、何もかも用意して下さった先生と寮母さんたちを見て、心強くなりました。

来る前に徳島はちょっと田舎なところだと聞きました。たしかにここは東京のような大都市じゃないですが、住み心地のいいところだと思います。新鮮な空気、咲いている桜、美しい夕焼け、金色の稲、あちこち実っている柿も全部好きです。でも、何より好きなのは徳島の人です。何かあったら助けてくれる先生や日本人の学生さん、親切な地元の人たちは、いつも私の心を暖かくしてくれます。このような徳島にいるから、ここでの生活にすぐ慣れて、毎日楽しく過ごしています。

徳島は私に安心感を与えてくれます。私はおおざっぱな人です。ある日、買い物をしている時いろんなものを選びましたが、財布がなくなると気づきました。自転車の筐に置き忘れたと思い出したとたんに、「あっ、しまった」と思いました。慌てて外へ出て見たら、ほんとにほっとしました。まだそこに財布があったのです。この後、何回もそのようなことがありましたが、もう全然心配せず、買ったものを自転車の籠に置いたままほかの店に入るのも普通のことになりました。

風の強い徳島は今頃になると本当に寒いですが、このような徳島にいるから、心がいつも暖かくて、風も可愛く感じるようになりました。



徳島に来て、良かった！

四国大学

文学研究科 日本文学・書道文化専攻

フ エキ
付 奕 中 国

日本に来て、もう七ヶ月が経ちました。
日本への一年間の交換留学が決まった

ときから、うれしい気持ちがあるけど、不安で心配なこともいっぱいありました。中国にいたとき、徳島県についての情報を収集しました。徳島は東京・大阪のような都市ではなく、また、京都・奈良のような古い町でもありません。インターネットと中国の日本語の先生から教えてもらって、徳島県のもっとも有名なものは阿波踊りと鳴門の渦潮だと思っています。

今は阿波踊りと鳴門の渦潮、両方とも詳しく知っています。阿波踊りは熱情的で、渦潮はすばらしい。徳島のことをもっと詳しく知っています。徳島は静

かで情熱的な街で、この七ヶ月間で、徳島からいろいろな体験と感動をもらいました。最初、中国から徳島に着いたばかりのとき、なんとなく、不安で心配でした。しかし、学校の先生と寮に住んでいる日本の学生たちにお世話をしてもらって、彼らのおかげで、私の不安は消えました。

現在東京に留学している高校時代のクラスメートと話したとき、彼女は「日本人の生活が忙しくて、人が冷たいです。」と言いました。びっくりしました。私は徳島の生活が静かで、のんびりしていると思っています。徳島の人々からは超優しいイメージをもらいます。さらに、大都市ではないけど、生活が便利です。24時間営業のコンビニが多くて、いろいろな病院があり、スーパーと料理店もあちこちにあります。私にとって、十分です。さらに、阿波踊りという面白い祭り、素晴らしい景色の渦潮・眉山などがあります。今、私は徳島に来て、良かったです！



徳島での留学生生活を振り返って

徳島文理大学

短期大学部生活科学科 2年

シュウ

周 ツーイン 台湾

私は2012年4月徳島文理大学入学後、短期大学部生活科学科ブライダルファッションコースで勉強をしています。最初の頃、日本語も下手だし、日本の生活習慣と文化も分からなく、いろいろな問題がありました。異国に生活する時に、孤独感、無力感が心に湧き上がります。でも、その時に「自分は大丈夫なんだ」と言いかけました。独立心は海外生活の一番肝心なことだと思います。たぶん日本に最初来た外国人皆が私と同じく言葉、学業、生活の整理などの問題にあっただろうと思います。でもどんな難しい問題にしても、解決の方法があると思います。

私はこの2年間で日本人の友達と付き合っ、大学の学園祭にも参加し、社会活動も行いました。このことは日本語の上達、日本文化の理解に大きく役立ちました。実は、日本に留学しているときに、日本人の人々みんなから優しさと熱意をずっと感じていて、もし機会があれば自分のできることをしてあげたく、感謝と助け合いの気持ちを伝えたいと思っていました。

また、留学の間にいろいろとはじめてのことがありました。例えば、納豆を食べたこと、日本の祭りで日本人の友だちと一緒に遊んだことなどがあります。

す。日本の文化を深く理解して、日本の多くのところに行くことができ、本当に楽しかったです。もともとあった不安な気持ちが消えて、日本語の勉強だけではなく、日本の伝統、習慣などさまざまなことも学ぶことができ本当に良い勉強になったと思います。

日本での留学生活は、自分の人生の中でかけがえのない宝物になり非常に満足しています。徳島文理大学の先生と学生は優しい方ばかりで、本当に温かい環境で勉強ができています。皆さんには本当に感謝しています。もちろん日本にいる間に、私は辛かった時もありました。でも、皆がそばにいてくれたので、一人で日本にいても寂しくなかったです。皆さんに対して伝えきれないほどの感謝の気持ちでいっぱいです。本当に皆さんと出会えて良かったと思います。また日本に来たいです。

今では、日本語だけではなく、料理や洗濯などの家事をするようになりました。留学生活は良かったと思います。本当に徳島が大好きです。文理大学の先生方に感謝しています。ありがとうございました。



徳島での留学生活

徳島工業短期大学
自動車工業学科

レオン ユー チェン
LEONG YEU CHENG

マレーシア

私はマレーシアから来た留学生です。マレーシアは、にぎやかな人種と宗教のるつぼと言われています。多種多様な民族とそれぞれの文化のおかげで多様な珍種の食べ物も味わうことができます。

私が日本に留学しに来たのは親の希望に従ったからです。高校二年生で卒業してマレーシアにある日本語学校で20ヶ月の授業を受けました。その先生を通して徳島工業短期大学を知り、入ることを決めました。その間に、福島県原発事故が起きて一時どうしようかと思いました。友達もあまり心配して私を止めようとしていましたが、私の気持ちを止めることはできませんでした。親の希望に従うと言っても、本当は日本に留学することに憧れていました。

日本に来てから最初の日目に日本語は読むことと、聴くことより話す方が重要だと強く意識しました。特に、日本語の初心者だった私たちにとっては一日も勉強しなければ舌が固くなって行くような気になります。それに、各地方

でそれぞれの方言があります。初めは阿波弁にあまり慣れなかったけれど、先生たちや友達が親切に教えてくれたおかげでどんどん話せるようになりました。

徳島は田舎のイメージだと思いましたが、ここに住んでいる人々は優しくてすごく熱情がいっぱいです。前一度学校に行く途中で道に迷いまして、近くの住民が私を車で学校まで送ってもらったのです。今でも、忘れられません。物価がマレーシアの3倍ですが、海と山に囲まれてとても住みやすい所と思います。鳴門金時など当地の美食も美味しいです。それに、鳴門渦のことに興味しました。とても素晴らしいと思います。

学校の方は勉強や就活のこと以外もいろいろなサポートをしてくれました。誕生会とか遠足などです。おかげで、楽しく充実した留学生生活を過ごすことができました。今思い返せばもう懐かしい。もうすぐ卒業して就職して、ここから離れることになります。ここでいろいろな人と出会ったことは将来良い思い出になると思います。

平和な日本



阿南工業高等専門学校

電気電子工学科 5年

アーマド アシュラフ ビン イブラヒム
AHMAD ASYRAF BIN IBRAHIM

マレーシア

平成23年4月に私は阿南高専に入学しました。2011年の地震と津波の影響で、マレーシアから日本への飛行機の出発日に変更がありましたので、入学式に行けなくなりました。

初めて阿南市に来たとき、思ったより便利な所でした。阿南高専の近くにも郵便局やコンビニなどもありますし、日用品を買物するには阿南市でたくさんのお店があります。周りを見ると、日本はすごく安全な国だと思います。人さらいの心配もなく、子供たちは自由に外で遊んだり、自由に学校へ行ったりして、すごいと思います。ある店のおばちゃんはいつも留学生のことを聞いたり話したりして、時々周りの人々があいさつしてくれて、タクシーに乗るときにもいつも運転手がいろんなことを話してくれて、私にはこの町は元気な町を感じています。

学校での生活も、最初はちょっと難しかったですが、日本人の友達がいつも教えてくれてよかったです。真面目な友達、優しすぎる友達、冗談か本気かわ

からない友達までいて、この学校での生活は面白いです。今は電気電子工学を学んでいるのですが、エンジニアになろうとは思いません。私はもっとこの日本のようないい国の文化を学びたいのです。世界の周りを探検したいです。マレーシアは先進国になるため、道程はまだ遠いので、私はマレーシア人として国のために日本で学んだことを活かすべきだと考えています。

阿南での生活

阿南工業高等専門学校
機械工学科 5 年

シヤワルヒュデイン ビン モハマド ドム
SYAWALHUDIN BIN MOHD DOM

マレーシア



初めて、日本へ来たのは2011年4月3日でした。日本へ来る前に、“阿南市はどこにあるのか”ちょっと怪しんでいました。阿南に到着する前は、阿南市

は都会みたいな所だと思っていました。しかし、それは間違っていて、田舎でした。“ここでどうやって3年間生活をするか”と考えてしまいました。

阿南高専へ来たばかりの時、日本人の友達はあまりいなかったもので、授業の時本当に困っていました。できるだけ、日本人とよく話すようにして、クラスメイトに質問とか日本語の問題を聞いていると、だんだん仲良くなっていきました。そうすると、日本人は本当にフレンドリーな人でした。それだけでなく、先生方は優しく、良く留学生を手伝ってくれました。例えば、授業のことか、日本での生活についてアドバイスくれました。だから、私達の日常生活は楽になっていました。

徳島県内にはいっぱいきれいな観光地があつて、観光をしたい時県内だけでも十分楽しめると思います。秋の時期はかずら橋へ行くのが本当にいいチョイスです。かずら橋にある河川は非常にきれいで、周りの景色もいっぱい紅葉があります。ハイキングをしたい時、眉山に登ることができます。眉山の頂上では徳島市の街並みが見えます。他には、鳴門に渦潮があり、鳴門大橋もみえます。

徳島県と言えば、阿波踊りの祭りは大人気で、毎年全国からたくさんの人から参加しています。夏の時期になると、ちょっと大変でした。この踊りは難しいですが、参加したら、楽しいと思います。十月に入ったら、“エビ祭り”が行

われ、祭りにたくさんの種類のエビが集まります。エビは新鮮なだけでなく、価格も安かったです。できれば、この祭りは毎月あればいいと思います。

さらに、外国人のために、阿南市国際交流会 (AIA) と徳島市国際交流会 (TIA) は色々なイベントをしてくれます。日本の文化を学ぶために、徳島県内の他、大阪にも見学に行きました。そのイベントから日本の文化と日本の歴史を深く学ぶことができました。TIA は毎月、徳島県青少年センターでフットサル大会を行っていて、誰でも参加できます。その大会で他の外国人と会って、友達がたくさんできました。

卒業する前に、後3か月しか残っていないので、徳島で色々な楽しいことをしたいです。徳島県内を友達と旅行したり、イベントに参加したりしたいです。3年間阿南に住んで、みんなそれぞれから色々お世話になって、本当に感動しました。みんなに“どうもありがとうございました”と言いたいです。

忘れられない思い出の地—徳島



徳島大学総合科学教育部
博士前期課程2年

キ キョクケイ
奇 旭 琮 中国

徳島大学総合科学部博士前期課程2年の奇旭琮と申します。2014年3月に大学院を修了し、母国の中国に帰ります。私にとって、徳島と徳島大学はきっと懐かしく忘れられないところとなるでしょう。

私が日本に来たときから始めたいと思います。私の乗った飛行機が関西空港に到着したとき、外国に来たのだと思いましたが、実際に日本に来たという実感は全然湧きませんでした。バスがJR徳島駅に着いたときはもう夕方で、たくさんの黄色いタクシーがきれいに並んでいるのが印象的でした。全く何も知らない町に来て、薄暗い明かりに囲まれて、これから徳島でどんな日々を過ごすのかと本当に心配でした。そのとき、初めて私が一人で日本にいるんだという気持ちと寂しさを感じました。それからあっという間に三年の年月が流れました。徳島で多くの人と出会い、友達がたくさんできました。専門の勉強だけでなく、日本語と日本の文化も学ぶことができ、本当に楽しくて充足した日々を送ることができました。

日本に来る前、私は日本という国が先進国であり、どこに行っても現代的な雰囲気があるのだと思っていました。でも、徳島に来たとき、自分の予想とは

違っていることに気づきました。徳島は道が狭く、小さな町だったのです。しかし、私はそんな徳島に来てよかったと思っています。「現代都市」と言えば、すべて同じような町並みです。もっと日本の文化に近づきたいなら、徳島のような、自然が豊かで日本的な建物が並んでいて歴史を感じることができる町に住むべきだと思います。私は徳島が大好きです。

夜、アパートの近くの川沿いをジョギングするのですが、走りながら夜の徳島の風景やきれいな星空を楽しんでいます。そんな中をジョギングしていると、穏やかな風が頬を撫で、一日の疲れやストレスが全部どこかに飛んでいきます。中国に帰ったときに、この徳島の夜の素晴らしさを一番懐かしく思い出すだろうな、と思っています。

私は先日、徳島の伝統工芸「藍染」を体験しました。どのような柄になるのか、作業の最後までわくわくしました。できあがった藍染めのハンカチを見て、これは私が作った世界でたったひとつのものだという感動がありました。これも、徳島ならではの体験です。

徳島で過ごした日々はかけがえのないものです。この文章を書いている時点で、徳島にいられるのはあと数カ月です。帰国のことを考えるたびに、徳島には懐かしい思い出がたくさん詰まっていることを実感します。お世話になっていた先生方、地元の親切な方々、そしておいしい空気、夜の美しい星空、貴重な体験、すべてが私の記憶に残ることでしょう。徳島での貴重な経験をできるだけ多くの人に話したいです。



興奮の風を感じて、楽しもう

徳島大学

工学部機械工学科 2年

ムハンマド ザイヌル アリフフィン ビン
MUHAMMAD ZAINUL ARIFFIN BIN

ザイノルディン
ZAINORDIN

マレーシア

マレーシアから来た留学生のザイヌルと申します。2012年4月に日本に来ました。現在、機械工学科の2年生です。日本に来る前に1年半ほどマレーシアで日本語を勉強しました。自分ではがんばっているつもりなのですが、書いたり話したりする能力はまだ十分ではありません。日本に来たときはいろいろなことが大変で

したが、徳島大学の先生やクラスの友達のおかげで日本での生活にも慣れてきました。

私はマレーシアのクラングという町に住んでいました。クアラルンプールから1時間ぐらいのところであり、とてもにぎやかな町です。クラングと比べると徳島は少し田舎ですが、徳島には緑がたくさんあり、自然の風景が多く、とても気に入っています。風が強いのが徳島の特徴だと言われましたが、初めて徳島に来て実際に風の強さを体験して、初めは台風みたいだと思ってしまいました。今はそんな徳島の強い風にも慣れました。また、私は徳島のシンボルの眉山も好きです。眉山に登ると疲れますが、頂上からの景色は素晴らしいです。時々、眉山に登って、眉山からの景色を楽しんでいます。毎年秋には必ずマレーシアの友達と美しいかずら橋に行きます。一年生のときには、阿波踊りの踊り方のプログラムに参加する機会があって、大変楽しかったです。

今住んでいるアパートは大学から5分ぐらいのところにあるので、いつも歩いて大学に来ます。歩いているときにいろいろな人と会うことができ、挨拶したり話しかけてくれたりして、うれしく感じています。大学の生活はやはり大変ですが、自分の将来のためだと思って毎日がんばっています。時間があるときには大学の近くの吉野川に行って、のんびりします。特に勉強のストレスが溜まったとき、水の流れる川を見て、心が広がるような気がします。

徳島での大学生活はあと2年ぐらいですが、もっと多くの経験をしたいと思います。将来、できれば日本で働きたいです。徳島で働いている先輩もいるので、いろいろなアドバイスをいただいています。徳島大学で学んだことは、自分がこれからどこへ行っても、決して忘れることはありません。